

1 対象年次、単位数、使用教科書

2年次～4年次 (必修) 2単位

教科書：家庭総合 パートナーシップでつくる未来 (実教出版)

2 科目の目標

どのような生活を送り、どのような家族をつくりたいのか、自ら考え判断できる、他と共存できるような力の育成を目指す。

3 評価規準 (何を評価するか)

自分らしい生き方について考えることができる。  
 生命の誕生のしくみについて正しく理解するとともに、母体保護制度について理解する。  
 乳幼児の身体的発育と生活の特徴について理解するとともに現代社会の問題について考える。  
 子どもの健康と福祉について考える。  
 高齢化社会の現状と課題について知り、高齢者がいきいきとした生活が遅れるような社会のしくみについて考えることができる。  
 食文化について分かる。  
 栄養素のはたらきと多く含む食品について理解できる。  
 栄養素のはたらきと多く含む食品について理解し各年代の必要量について分かる。  
 適切な食品選択や保存方法について理解できる。  
 これからの食生活のあり方について考えることができる。

4 評価基準 (どんな方法で評価するか)

レポートの評価規準をもとに、5段階で総合的に評価を行う。総合的な評価が1の場合、再提出とする。再提出により合格した場合の評価は3を基本とする。なお、上記評価規準のいずれかの評価が極めて低い場合は、再提出とすることがある。その場合、再提出により合格した場合の評価は3以上とする。

5 試験範囲と試験による評価基準

R1～R3の範囲で7月試験、R4～R6の範囲で10月試験を実施。なお、29点以下については再試験とする。

再試験を繰り返してもなお基準点(30点)に達しない場合は単位認定しない。

6 スクーリングの目標・内容・計画

スクーリングは、生徒の質問に個別に対応する。家庭総合—1では、家庭生活に関する基本的事項について知識、理解の定着を促すよう指導する。

R	項目	内容	教科書	時期
1	自分らしい生き方と家族 家族とかかわって生	現代の家族の特徴及び機能について 家庭を支える労働の意義や特徴、課題について 家族に関する法律について、その内容と問題点	4～27	5月上旬
2	子どもとかかわる	加齢による心身の変化について 介護の基本技術 日本の社会福祉制度の現状について	28～57	5月下旬
3	高齢者とかかわる 社会とかかわる	消費生活の現状と消費者の権利・責任について 家計管理の重要性 消費生活と環境とのかかわりについて	58～81	6月下旬
4	食生活をつくる (1)人と食物のかかわり (2)私たちの食生活 (3)栄養と食品のかかわり	栄養素のはたらきや食品の栄養的特徴と調理上の性質について	82～97	7月中旬
5	(3)栄養と食品のかかわり (4)食品の選び方と安全 (5)食事の計画と調理	栄養について 栄養摂取の基準量や食品群別摂取量のめやすの日常の食事との関連づけ 食品選択のポイントや保存方法について 食中毒や食品添加物などについて	98～109	8月下旬
6	(5)食事の計画と調理 (6)これからの食生活を考える	栄養バランスのとれた食事の重要性や年代ごとの献立の特徴 安全で衛生的な食生活を営むために必要な基礎的・基本的な知識	110～139	9月中旬